

北陸大学 創立50周年記念事業 募金趣意書



「学生の成長力No1の教育」を実践します。
これまで、これからも

ご挨拶

皆様におかれましては、平素より北陸大学の教育・研究活動に温かいご支援、ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

1975(昭和50)年4月に薬学部単独でスタートした本学は、創設者・初代理事長である林屋亀次郎が掲げた「自然を愛し 生命を尊び 真理を究める人間の形成」を建学の精神、「健康社会の実現」を使命・目的として、これまでに2万3千人余の卒業生を輩出してまいりました。開学当初からの基本構想の一つである総合大学化を着々と進め、現在では薬学部、経済経営学部、国際コミュニケーション学部、医療保健学部、2025(令和7)年には、医療保健学研究科を設置し、4学部7学科1研究科となりました。

現在、創立50周年記念事業の一環として、学生の教育環境の充実を目指したキャンパス整備や本学のシンボルである「五人扶持の松」がある北陸大学教養別館*の整備等に資するための募金の募集を行なっております。また、この度の令和6年能登半島地震の発生により、能登半島地震支援募金についても併せてご支援をお願いすることとなりました。「学生の成長力No.1の教育」を標榜する大学として、自ら学び、考え、行動する力を持った学生の育成に、これからは教職員一同、一丸となって邁進する所存でございますので、同窓生、在学生の保護者、本学関係者ならびに有志の皆様におかれましては、何卒本趣意書の取り組みにご賛同いただき、特段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



理事長 小倉 勤



学長 東風 安生

*学校法人松雲学園(現学校法人北陸大学)として設置認可を受けた本学は、校章に松雲学園の「松」と、創設者・初代理事長林屋亀次郎(現北陸大学教養別館)の「五人扶持の松」を想定し、五代藩主前田綱紀公(松雲公)の「松」の意をも含め、大学の常しえの発展を祈念して松葉菱紋形を取り入れました(「松雲学園十年史」より)。スクールカラーを「深緑」としているのも、教養別館内の庭園にある「五人扶持の松」がその由縁となっています。

創立50周年記念事業スローガン

「学生の成長力No.1の教育」を実践します。これまでも、これからも

「学生の成長力No.1の教育」を実践すること。それは時代や社会が変化しても、北陸大学が常に追い求める不変のテーマです。

自ら学び、考え、判断し、行動する力を育み、一人一人が「成長できた」と自信をもって卒業する。そんな学生こそが、1年先さえ予測できない混沌とした現在を力強く生き、未来を切り開いていけると信じています。

これまでの50年を振り返る節目の今、これからの50年を見据え、「チーム北陸大学」一丸となってさらなる高みを目指して取り組みます。

創立50周年記念ロゴマーク

このロゴマークは、金沢の伝統工芸である加賀手毬をモチーフに、北陸大学のコミュニケーションマークとして使用している「I+(アイ・プラス)」「I(私)に力+(プラス)する教育」の「+(プラス)」をアクセントとして取り入れながら、建学の精神・教育理念である「自然を愛し 生命を尊び 真理を究める人間の形成」を基に、人間と自然との調和、自然界にあふれる生命の多様性をイメージしてデザインしました。創立以来50年の間に卒業した全ての卒業生が様々な付加価値を身に付けて社会で活躍する様子と、これから「成長力No.1の教育」を受ける学生が、多様な社会の様々な分野で活躍する様子を、スクールカラーの緑の濃さで表現しています。



建学の精神・教育理念

自然を愛し 生命を尊び 真理を究める人間の形成

北陸大学の創設者・初代理事長は、吉田茂内閣の国務大臣であった林屋亀次郎です。林屋は戦後日本の復興と発展に力を尽くすとともに、郷土石川県政財界の重鎮として至高の地歩を築きました。満88歳に達してもその情熱は衰えず、経済復興を為し得た我が国に真に必要なものは、「報恩感謝の念に基づき、真理と正義を愛する個性豊かな人間の育成である」との信念から、北陸大学の創設を天命とし、すべてを注がれました。



創設者・初代理事長 林屋亀次郎

募金要項

以下の募金対象事業①～④の中からご賛同いただけるものをお選びいただき、次頁の申込方法により、お申し込みください(本法人に使用を一任いただくことも可能です)。

事業内容

募集期間	2023年6月～2026年3月	受付金額	個人:1口2千円から 法人:1口1万円から
目標金額	1億円 2023年6月～2026年3月の期間内の募金対象事業①～④の累計額		

① キャンパス施設整備事業



本学では、データ分析を地域や職場で活かすことができる人材を育成する「データサイエンス・AI教育プログラム」を全学部で導入しています。次世代の教育に対応する学修環境・情報環境及び課外活動や学生生活の充実のために必要となる環境整備をこれからも積極的にを行い、「学生の成長力No.1の教育」を実践していきます。

② 学生への修学支援事業



「北陸大学奨学寄付金」は、学生の修学を支援するために支給する奨学金等の原資とし、有為な人材の育成を後押しするものです。以下の(1)～(6)の用途からお選びいただくこともでき、本法人に用途を一任いただくことも可能です。

- (1) 経済的に修学困難な学生を応援
- (2) 海外留学を目指す日本人学生を応援
- (3) 海外からの留学生を応援
- (4) 課外活動に頑張る学生を応援
- (5) 地域連携事業に頑張る学生を応援
- (6) 能登半島地震支援募金

③ 教員の研究支援事業



「北陸大学研究助成金・奨励金」は、本学の教員が幅広い教育研究を展開するための資金に充て、その教育研究によって得た成果を社会に還元することで、本学と社会の連携を強めることを目的とするものです。以下の(1)(2)の用途からお選びいただくこともでき、本法人に用途を一任いただくことも可能です。

- (1) 教育研究を推進し学術を奨励: 本学教員のシーズを広く発信し、企業、自治体が抱える課題とのマッチングにより、産学官連携の研究活動を促進するための資金として活用します。
- (2) 「健康社会の実現」に係る研究活動を奨励: 高齢化社会を迎えるにあたり、健康社会の実現に向けて、薬学、健康、経済、文化等の分野から総合的な研究活動、健康社会実現に向けた情報の発信、この活動のための事業資金として充当します。

④ 教養別館整備事業



北陸大学教養別館は、創設者・初代理事長林屋亀次郎の旧邸宅で、別館内の庭園である「林鐘庭」は、日本画の巨匠・横山大観氏が来庭して命名されたものです。庭園には、「五人扶持の松」と呼ばれる樹齢約450年の銘木があり、本学では、これを大学のシンボルとして、また、後世に継承する貴重な財産として大切に維持管理しています。

*五人扶持の松: 藩政期、その見事な枝ぶりに、第13代藩主前田斉泰公が兼六園への移植を望んだものの、沿道150軒の取り壊しが必要なることからこれを断念。五人扶持を給して手厚い保護を命じたのが、その名の由来と言われています。

申込方法

本趣意書(前頁)掲載の募金対象事業の中からご賛同いただける事業をお選びいただき、以下のお支払い方法によりお申し込みください(本法人に用途を一任いただくことも可能です)。



北陸大学創立50周年記念特設サイト <https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/fifty>

個人

①クレジットカード・コンビニ支払い: 上記特設サイトからお支払いください。

②銀行ATM、インターネットバンキング: 「寄付申込書*」を経理課までEメール、FAX又は郵送でお送りいただき、上記特設サイトに掲載の振込口座にお支払いください。

③金融機関窓口: 「寄付申込書*」を経理課までEメール、FAX又は郵送でお送りください。後日、専用振込依頼書を郵送します。

*「寄付申込書」は上記特設サイトからダウンロードすることが可能です。募金対象事業等の確認が必要です。必ずご提出ください。

法人

税制上の優遇措置として、寄付金の全額が損金算入できる「受配者指定寄付金」の制度と一定限度額までが損金算入できる「特定公益増進法人に対する寄付金」の制度のいずれかを選択することができます。寄付申込書及び振込用紙をお送りさせていただきますので、まずは、経理課までご連絡ください。

【連絡先】学校法人北陸大学経理課
TEL.076-229-6007 FAX.076-229-1348
〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地
Eメール: keiri@hokuriku-u.ac.jp

税制上の優遇措置

個人*

「税額控除」と「所得控除」

本学は寄付金募集について文部科学省から寄付金控除の対象となる証明書の交付を受けており、確定申告いただく際には、所得税の寄付金控除を受けることができます。控除には、「税額控除」と「所得控除」の2種類があり、確定申告の際にいずれかの控除を選択いただくことになります。

「住民税控除」

「住民税控除」は、寄付された方の所在地の条例によりますが、翌年の1月1日の住所が石川県内の市と町の方が対象となります。所得税の確定申告を行うことにより、住民税控除が受けられます。

法人

「受配者指定寄付金」と「特定公益増進法人に対する寄付金」

日本私立学校振興・共済事業団が取り扱う「受配者指定寄付金」と学校法人に直接寄付を行う「特定公益増進法人に対する寄付金」の2つがあり、いずれも税制上の優遇措置が認められています。控除の詳細は、上記特設サイトをご確認ください。

*新入生の御父母や保証人が入学した年に行った寄付は、「学校の入学に関してする寄附金」とみなされ、寄付金控除の対象とはなりません(入学の翌年1月以降の寄付金は、寄付金控除の対象となります)。

顕彰制度

ご寄付いただきました皆様への感謝の意を込めて、顕彰制度を設けております。

寄付者、寄付金額の公表: ご寄付を賜りました方の氏名、寄付金額を本学のホームページなどに掲載させていただきます。氏名、金額の非公表をご希望の場合は、その旨を「寄付申込書」にご記入ください。

銘板への掲載、感謝状の贈呈: 個人で5万円以上、法人・団体で50万円以上のご寄付を賜りました方には、銘板にご芳名を掲載し、末長く顕彰させていただきます(匿名希望の方を除きます)。また、個人で50万円以上、法人・団体で100万円以上のご寄付を賜りました方には、感謝状を贈呈させていただきますほか、教養別館見学会のご案内をさせていただきます。(金額は2023年6月~2026年3月の期間内の募金対象事業①~④の累計額)。

遺贈・相続財産によるご寄付について

次代を担う若者を応援するため、ご自身がこれまで築かれた資産の一部を将来、本学に遺贈(遺言によるご寄付)したいとお考えの方に対し、本学では、遺言信託業務を取り扱う提携銀行をご紹介します。本制度は相続税が非課税扱いになるなど、税制上の優遇措置を受けることが出来ます。詳しくは、上記に記載の本学経理課までお問い合わせください。

【本学の歩み】	
1975年	学校法人松雲学園設置認可
1979年	北陸大学開学 薬学部開設
1983年	大学院薬学研究科博士前期課程(修士)開設
1985年	大学院薬学研究科博士後期課程(博士)開設
1987年	法人名称を学校法人北陸大学に変更
1992年	外国語学部開設
1994年	法学部開設
2004年	留学生別科開設
2006年	6年制薬学部開設
2017年	医療保健学部医療技術学科開設
2021年	未来創造学部国際マネジメント学科を経済経営学部マネジメント学科に改組
2023年	未来創造学部国際教養学科を国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科に改組
2023年	国際コミュニケーション学部を心理社会学科開設
2024年	医療保健学部にて理学療法学科開設
2025年	経済経営学部にて経済学科開設
	大学院医療保健学研究科医療保健学専攻開設
	北陸大学創立50周年

お問合せ先

学校法人 北陸大学
創立50周年記念事業準備室

〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地
TEL 076-229-1161(代) Eメール: souritsu50th@hokuriku-u.ac.jp
<https://www.hokuriku-u.ac.jp>



個人情報取り扱いについて

募金のご協力の際に取得しました皆様の個人情報は、本募金事業に係る業務のために使用し、「学校法人北陸大学個人情報保護規程」に基づき、適正に管理いたします。